

環境を学ぶために

著者	長峰 登記夫
出版者	法政大学人間環境学会
雑誌名	人間環境論集
巻	14
号	1
ページ	27-28
発行年	2013-06
URL	http://hdl.handle.net/10114/8334

【 読書案内 — 環境を学ぶために 】

環境を学ぶために
長峰 登記夫

サンゴ礁保全の意義を知る
— 野池元基著『サンゴの海に生きる』の古典的価値と今 —
梶 裕史

大学教育における文系環境学の展開とテキスト
小島 聡

自著を語る：
『環境と社会（ブックガイドシリーズ 基本の30冊）』
西城戸 誠

企業と社会の関係性を学ぶために
長谷川 直哉

湿原と人との意外な関係をひも解く
高田 雅之

日本の森と林業を考える三冊
田中 勉

「環境を学ぶために」

長峰 登記夫

何か新しいことについて勉強しようとするとき、きっかけは人それぞれ、十人十色です。家族が病気で入院したとき、一生懸命世話をしてくれた看護師や医者の方に感動して、看護師や医師をめざし勉強するというのは、よくあることです。これはある体験をきっかけに、何かについて学ぶようになるという例です。

同じ体験に基づくものでも、自分から積極的に働きかけることによって、そのきっかけを作ることもあります。何でも見てやろう、何でもやってみようの精神で行動する場合で、そのとき重要なことは旺盛な好奇心です。それ以外にも、学生であれば授業で学んだこと、授業で紹介された本に触発され、そこから新たな世界に一步を踏み入れるということもよくあります。

本号では、そうした新たな世界への一步として、いくつかのテーマから、私たちが環境について学ぼうとするとき、私たちの好奇心を刺激してくれるような本を紹介することにしました。

言うまでもなく、環境の勉強は範囲が広く、勉強の仕方でも伝統的な学問分野にとられない学際的なものになります。ここで紹介する本はいずれも、そうした広い範囲のなかから環境について勉強しようとするとき、導きの糸となってくれるようなものばかりです。ここで紹介されている本によって、皆さんがいつそう環境問題に興味を持ち、好奇心を駆り立てられ、それが皆さんを新たな世界へと導いてくれることを願っています。